

整理番号 2021M-007
補助事業名 2021年度 ウズベキスタン共和国での情報通信産業及び情報化政策の調査 補助事業
補助事業者名 一般財団法人国際情報化協力センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ウズベキスタン共和国におけるIT政策及び代表的なプロジェクトの把握、ITに関する政策対話の実施や今後の協力に向けた意見交換、人的ネットワークの構築を行い情報化政策やプロジェクトに関する貴重な情報を現地訪問調査により入手し、調査成果の報告会を実施することで我が国企業の国際貢献に基づいたビジネス機会の創出につなげることを目的とする。

(2) 実施内容

我が国の新興国のIT産業へのアプローチにおいて空白地帯となっている中央アジア、特に最大の市場規模を持つウズベキスタン市場での日本企業進出の活性化を目的とし、このための基礎となるデータの収集、人的ネットワークの構築を図るもの。駐日ウズベキスタン大使館の多大な協力を得て、本年7月13日～22日（移動日を含む）の日程で、占部専務理事及び岡田部長の二名により実施。同国の情報化に関係する各種機関に面談、ヒアリング等を行った。

この結果、同国の情報インフラやビジネス環境はコロナパンデミックの期間を含む直近3年で大きく様変わりをしており、また、ロシアのウクライナ侵攻に伴う地政学的状況の混乱も、同国の情報化の状況に大きな変革をもたらしたことが明らかになった。

本訪問ではウズベキスタンの国情やビジネス環境を、駐ウズベキスタン日本大使、JICA、JETROとの面談で理解しつつ、ICT政策の策定、実施を所管する情報通信技術省（MiTC）S. シェルマトフ大臣と弊財団専務理事とのバイ会談を実施し、今後の協力について約束を取り付けた。また、電子政府開発センター、対外企業進出の窓口となる対外投資貿易省の日本窓口部局、官民のICT人材育成を行う教育機関、IT産業活性化の拠点となるITPark等を訪問し、広く情報化動向の情報収集を行った。このように、机上かつオフサイトでの調査では構築できない人脈の構築も極めて効果的に実施できた。また情報通信技術開発省シェルマトフ大臣よりウズベキスタンで最大のICT分野イベントである「ICT WEEK UZBEKISTAN2022」のご招待を受け10月22日～27日（移動日を含む）の日程で現地訪問を行い、同イベントに参加し、シェルマトフ大臣出席のICT SUMMITとOECDによる「Digital Government Policy Flame work」に出席をした。

本事業についての調査報告会も在京ウズベキスタン共和国大使館を会場にウェビナー形式で実施した。両国大使のご挨拶を賜り、終了後のアンケートでは、とても役に立った、ウズベキスタンのICT動向に興味を持ったという意見などが多数寄せられた。同ウェビナーには、合計57名の参加があった。CICCでは、引き続きウズベキスタンにおける組織的人的ネットワークを活用し、同国のIT関連の政策動向、市場動向および技術動向等について、

タイムリーかつ有益な調査報告や情報発信を行っていききたい。なお、本会議の成果報告は、当財団ホームページ <https://www.cicc.or.jp/> より、「お知らせ」のCICC ウェビナー「ウズベキスタンの最新 ICT 動向」開催報告の欄に掲載している。また、一般社団法人ロシアNIS貿易会（ROTOBO）のロシアNIS調査月報2023年1月号「外交樹立30周年を迎えた日本とNIS」特集において、当財団企画部長岡田の署名記事として「ウズベキスタン共和国におけるICT分野の状況」と題する本調査事業の概略紹介記事を掲載している。

報告会のプログラムは以下の通りである

15:00 - 15:20

「開会挨拶」 (一財)国際情報化協力センター(CICC) 専務理事 占部 浩一郎

「ウエルカムスピーチ」

駐ウズベキスタン日本国特命全権大使 藤山 美典 氏

駐日ウズベキスタン共和国特命全権大使ムクシンクジャ・アブドゥラフモノフ氏

15:20 - 15:35

「ウズベキスタンの概要」 ジェトロ・タシケント事務所 所長 高橋 淳 氏

15:35 - 16:15

「ウズベキスタンの最新 ICT 動向」 CICC 企画部長 岡田 光太郎

16:15 - 16:25

質疑応答



<写真：ウェビナーの様子>

講演資料は、ウェビナー参加者に個別に配布した。当財団ホームページ <https://www.cicc.or.jp/> より、「お知らせ」のCICC ウェビナー「ウズベキスタンの最新 ICT 動向」の開催実施報告の欄に掲載している。

当財団ホームページ掲載

<https://cicc.or.jp/japanese/20221128-01/>

2 予想される事業実施効果

ポストアジアとしての大きなポテンシャルがあるにも関わらず周知されていなかった中央アジアのうち、最大の市場を有するウズベキスタンに対する認知を拡大することにより、ウズベキスタンICT分野における日本のプレゼンスを向上させ、経済交流の活性化に貢献する。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

2021 年度ウズベキスタン共和国での情報通信産業及び情報化政策の調査報告書

<https://cicc.or.jp/japanese/wp-content/uploads/keirin2021UZ.pdf>

表紙 目次の画像データ

2021 年度
ウズベキスタン共和国での情報通信産業
及び情報化政策の調査報告書

2022 年 11 月
一般財団法人 国際情報化協力センター



本事業は競輪の補助を受けて実施しました。

「2021 年度 ウズベキスタン共和国での情報通信産業及び情報化政策の調査補助事業」における調査実施報告について

目次

1. はじめに.....	3
2. ウズベキスタン共和国概況.....	4
2-1 基礎情報.....	4
2-2 ウズベキスタン共和国に着目する理由とウズベキスタン社会の特徴.....	7
2-3 日本との関係.....	10
3. ウズベキスタン情報化サマリー.....	11
3-1 Digital UZBEKISTAN 2030 Strategy.....	11
3-2 E-Government Policy.....	16
3-3 IT Park.....	17
3-4 Digital 人材育成.....	19
4. 現地ヒアリング報告.....	20
4-1 MITC S.Shermatov 大臣.....	21
4-2 E-Government Project Management Center Mr.Saidov 副部长.....	24
4-3 IT Park.....	25
4-4 投資貿易省 (Ministry of Investments and Foreign Trade).....	26
4-5 ASTROM (IT Academy).....	27
4-6 タンケント情報通信大学 Mr.Tashev 副学長.....	28
4-7 Japan Digital University (JDU) Mr.Mamajonov CEO.....	29
5. ICT WEEK 2022 Uzbekistan.....	31
5-1 概要.....	31
5-2 Agenda.....	32
5-3 ICT SUMMIT.....	33
5-4 The policy Framework of Digital government.....	36
6. まとめ/所感.....	37
6-1 ウズベキスタン共和国の最新 ICT 動向報告会.....	37
6-2 所感.....	39
7. Appendix.....	40
7-1 Digital Uzbekistan 2030 Strategy (和訳サマリー).....	40

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人国際情報化協力センター

(イチザイ コクサイジョウホウカキョウリョクセンター)

住 所： 〒103-0024

東京都中央区日本橋小舟町9-4

代 表 者： 理事長 新野 隆 (ニイノ タカシ)

担当部署： 総務部 (ソウムブ)

担当者名： 部長 高橋 省三 (タカハシ ショウゾウ)

電話番号： 03-5843-6597

F A X： 03-5843-6598

E-mail： takahashi@net.cicc.or.jp

U R L： <https://cicc.or.jp>